

平成26年度

除雪出陣式

～網走道路事務所～



積雪に向け安全意識の高揚を図る

平成26年11月7日、本格的な降雪期を間近に控え、網走道路事務所では「道路交通の安全確保」と「作業の安全意識」を高めるため除雪出陣式を行った。

寒空の中、網走開発建設部と除雪受託業者3社（斜里建設工業株式会社・株式会社そうけん・株式会社丸七高橋組）から組織される維持除雪工事連絡協議会や網走警察署から、約60名が参集、また多数の報道機関も駆けつけた。

出陣式の前行われた安全祈願祭（受注者主催）では、山岡部長や受託業者らが玉串を捧げ除雪作業の安全を祈願した。

出陣式では発注者代表である当部の山岡部長が「健康に留意して無事故で除雪作業にあたってほしい」と激励した。



網走道路事務所では39号、238号、244号、334号、391号と美幌バイパスの計**263km**を管理しています。

6箇所の除雪基地と37台の除雪車で除排雪や路面凍結対策に当たります。



福田網走警察署長からは「互いの連携を強化すること」「安全な交通環境を構築すること」の2点に関して、網走方面の事故の現状を交えながら説明をいただいた。

また維持除雪工事連絡協議会会長である斜里建設工業現場代理人の宮崎辰也さんは「除雪作業の事故ゼロを誓います。」と宣誓し、宣誓書を山岡部長に手交した。



道路事務所職員や報道機関の方々に見送られて、除雪基地へと向かって行った。



その後は作業員が宮崎会長の掛け声に合わせて除雪車を点検し、山岡部長の「全車出発！」の号令で一斉に出発。

